

令和元年度

上尾市立小・中学校学力調査結果

〈概要〉

(小学校:令和元年12月20日 中学校:令和2年1月9日実施)



《上尾市webサイト掲載用》

— 夢・感動教育 あげお —
上尾市教育委員会

目 次

1	学力調査実施の概要	
(1)	調査の趣旨	1
(2)	調査対象	1
(3)	調査実施日	1
(4)	調査教科及び調査時間	1
(5)	使用検査紙	1
(6)	調査人数	1
2	学力調査結果の概要	2
3	観点別・領域内容別調査結果の概要	
(1)	小学校	3
(2)	中学校	6
4	質問紙調査結果の概要	
	【小学校第5学年】	8
	【中学校第2学年】	15
5	まとめ	22

1 学力調査実施の概要

(1) 調査の趣旨

本市児童生徒の学力の実態を把握するとともに、課題を明らかにして学習指導の改善を図ることにより、確かな学力を育成する。

(2) 調査対象

小学校 第2. 3. 4. 5. 6学年

中学校 第1. 2学年

(3) 調査実施日

小学校 : 令和元年12月20日(金)

中学校 : 令和2年1月9日(木)

(4) 調査教科及び調査時間

小学校 : 第2学年～第6学年 国語(40分)、算数(40分)

中学校 : 第1学年・第2学年 国語(45分)、数学(45分)、英語(45分)

※第1学年のみ

※ 出題範囲は、当該学年で学習した内容

※ 小学校第5学年、中学校第2学年で質問紙調査を実施

(5) 使用検査紙

T K式領域別標準学力検査(田中教育研究所編)

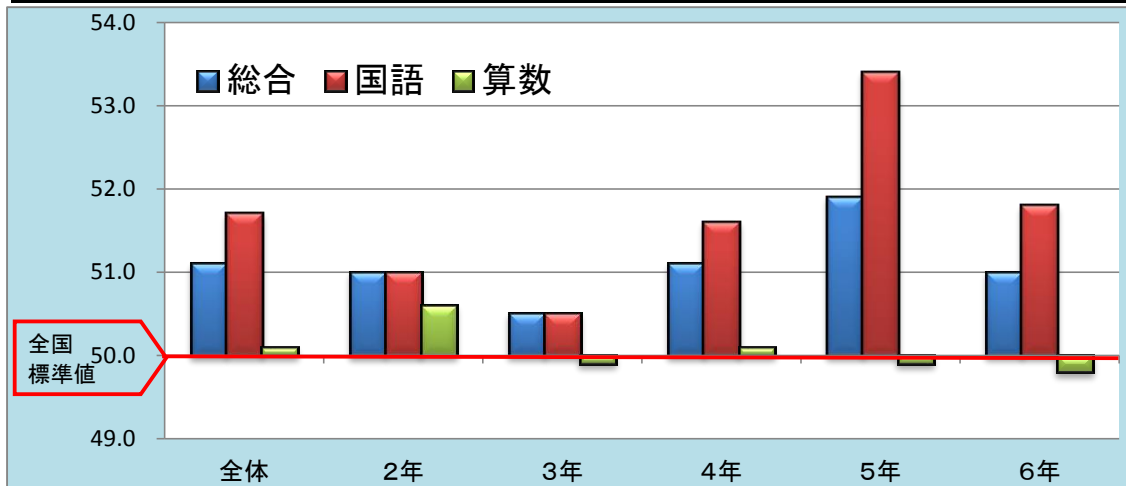
(6) 調査人数

	国語		算数・数学		英語	
	調査人数	実施率(%)	調査人数	実施率(%)	調査人数	実施率(%)
小学校	8,950	95.4	8,949	95.3	—	—
中学校	3,481	93.4	3,479	93.4	1,753	93.5
合計	12,431	94.8	12,428	94.7	1,753	93.5

2 学力調査結果の概要

(1) 小学校

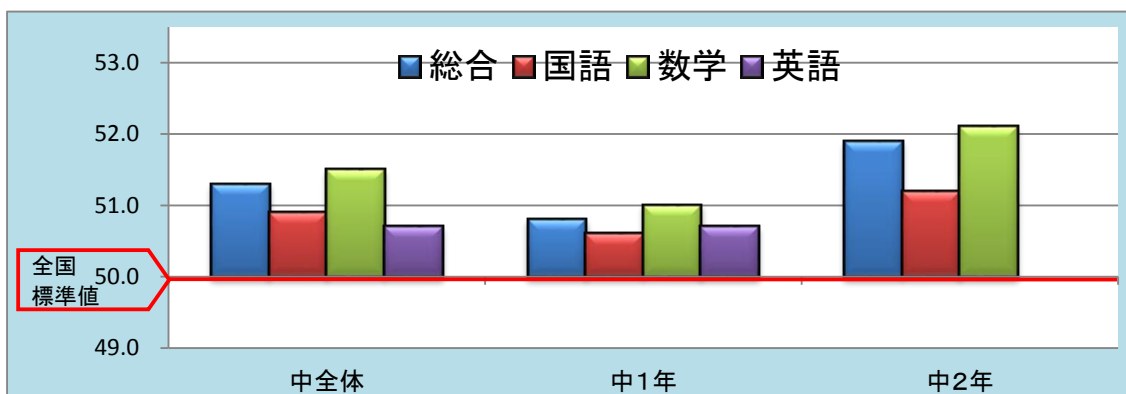
	上尾市	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
総合	51.1	51.0	50.5	51.1	51.9	51.0
国語	51.7	51.0	50.5	51.6	53.4	51.8
算数	50.1	50.6	49.9	50.1	49.9	49.8



- 上尾市全体の得点は、51.1で全国標準値を上回っている。
- 学年別の総合得点では、全学年で全国標準値を上回っている。
- 学年別、教科別に見ると、第3・5・6学年の算数において、わずかに全国標準値を下回っている。

(2) 中学校

	学校全体	第1学年	第2学年
総合	51.3	50.8	51.9
国語	50.9	50.6	51.2
数学	51.5	51.0	52.1
英語	50.7	50.7	*



- 上尾市全体の得点は、51.3で全国標準値を上回っている。
- 全学年・全教科で全国標準値を上回っている。

3 観点別・領域内容別調査結果の概要

(1) 小学校

2 年生

【国語】

観点別・領域別ともに全国の平均正答率の同等以上の水準である。領域内容別に見ると、「話をしっかり聞き、質問に答えること」「文のつながりに注意して正しい文を書くこと」に課題が見られるため、指導の工夫改善が必要である。

		項目	上尾市	全国	(-) 全国比較	(+)
観点別	1	関心・意欲・態度	78.1	74.3		3.8
	2	話す・聞く能力	74.7	74.6		0.1
	3	書く能力	74.4	74.4		0
	4	読む能力	58.0	57.8		0.2
	5	知識・理解・技能	84.6	81.0		3.6
領域別	1	話すこと・聞くこと	74.7	74.6		0.1
	2	書くこと	74.4	74.4		0
	3	読むこと	58.0	57.8		0.2
	4	言語文化	84.6	81.0		3.6
領域内容別	1	話をしっかり聞き、質問に答えること	72.6	74.5		-1.9
		話題を意識して話したり聞いたりすること	77.0	74.6		2.4
		内容の順序や表現に注意して書くこと	69.9	68.2		1.7
	2	「(まる)や」を文の中で正しく使うこと	68.8	68.3		0.5
		文のつながりに注意して正しい文を書くこと	79.4	80.6		-1.2
		文中の大事なことに注意しながら読むこと	81.1	80.6		0.5
	3	場面や人物の行動を考えながら読むこと	70.1	70.7		-0.6
		説明されている内容を正しく読みとること	29.7	29.0		0.7
		二年生で習った漢字を正しく読むこと	94.4	94.3		0.1
	4	二年生で習った漢字を正しく書くこと	89.5	79.3		10.2
	文中のしゅ語、じゅつ語をえらぶこと	62.4	60.9		1.5	
	かたかなを正しく書くこと	87.1	85.1		2	

【算数】

観点別に見ると「技能」に課題が見られる。領域内容別に見ると「かさの単位とはかりかた」に課題が見られる。児童にとって日常生活でなじみがないことが要因として考えられるので、意図的に普段の学習の中で取り入れていく等の工夫が必要である。

		項目	上尾市	全国	(-) 全国比較	(+)
観点別	1	関心・意欲・態度	78.3	77.1		1.2
	2	数学的な考え方	67.9	65.9		2
	3	技能	85.2	86.7		-1.5
	4	知識・理解	74.4	74.1		0.3
領域別	1	数と計算	86.8	86.4		0.4
	2	量と測定	66.1	67.4		-1.3
	3	数量関係	72.5	73.9		-1.4
領域内容別		100より大きい数	87.0	87.7		-0.7
		たし算のひき算	91.3	91.9		-0.6
		ひき算のひき算	82.5	85.2		-2.7
	1	かけ算の式の表わし方と倍について	85.6	77.0		8.6
		等号、不等号を式の中で使うこと	86.3	87.9		-1.6
		くふうして計算をすること	76.9	70.2		6.7
		かけ算の計算	92.1	94.5		-2.4
	2	長さや厚さの単位とはかりかた	62.1	62.2		-0.1
		かさの単位とはかりかた	74.8	77.6		-2.8
		時間と時こく	59.4	60.7		-1.3
	3	ひょうとグラフについて	79.2	80.5		-1.3
		文を読んで式を作り答えること	67.5	69.0		-1.5

3 年生

【国語】

観点別・領域別ともに、全国の平均正答率よりも高い水準である。領域内容別に見ると、昨年と同様に「ローマ字を正しく書くこと」に課題が見られるため、ローマ字に触れさせる機会を意図的にもつ等の改善が必要である。

		項目	上尾市	全国	(-) 全国比較	(+)
観点別	1	関心・意欲・態度	79.9	77.8		2.1
	2	話す・聞く能力	75.1	73.9		1.2
	3	書く能力	52.0	51.7		0.3
	4	読む能力	55.6	54.1		1.5
	5	知識・理解・技能	85.7	84.8		0.9
領域別	1	話すこと・聞くこと	75.1	73.9		1.2
	2	書くこと	52.0	51.7		0.3
	3	読むこと	55.6	54.1		1.5
	4	言語文化	85.7	84.8		0.9
領域内容別	1	話を聞いて、内容をとらえること	68.0	67.4		0.6
		話し合いの時に気をつけること	92.8	90.1		2.7
		調べたことをもとに報告文を書くこと	65.6	61.3		4.3
	2	文章の主旨に注意し案内文や作文を書くこと	42.2	44.8		-2.6
		場面のような人物の気持ちを考え読むこと	67.8	66.3		1.5
	3	説明されている内容を正しく読みとること	51.6	49.6		2
		物語の内容を叙述にそって読みとること	47.5	46.5		1
		三年生で習った漢字を正しく読むこと	72.6	67.1		5.5
		三年生で習った漢字を正しく書くこと	59.4	59.3		0.1
	4	国語辞典の引き方と漢字のへんについて	49.1	45.5		3.6
	指示語や修飾語を適切に使うこと	51.3	51.5		-0.2	
	ローマ字を正しく書くこと	52.4	57.7		-5.3	

【算数】

観点別に見ると「技能」に課題が見られる。割り算の計算の仕組みを正しく理解させる等の授業改善が必要である。また、昨年同様に「数量関係」の領域に課題が見られる。言葉、図、式等を関連付けて考えさせることが大切である。

		項目	上尾市	全国	(-) 全国比較	(+)
観点別	1	関心・意欲・態度	80.9	79.6		1.3
	2	数学的な考え方	57.2	57.5		-0.3
	3	技能	77.0	79.8		-2.8
	4	知識・理解	84.4	82.5		1.9
領域別	1	数と計算	76.5	78.9		-2.4
	2	量と測定	75.7	75.7		0
	3	図形	73.7	68.8		4.9
	4	数量関係	51.8	55.2		-3.4
領域内容別		かけ算の性質ときまり	80.8	79.1		1.7
		割り算の計算	86.3	89.3		-3
		3けた、4けたの数のたし算、ひき算	82.8	83.7		-0.9
	1	あまりのある割り算の計算	77.7	83.8		-6.1
		大きな数のしくみについて	70.4	69.6		0.8
		かけ算のひき算	73.4	77.1		-3.7
		商が2けたの割り算の計算	52.7	59.4		-6.7
	2	時間と時こく	77.6	78.5		-0.9
		長さや道のり、重さについて	74.2	73.6		0.6
	3	円と球について	73.7	68.8		4.9
4	文を読み、割り算の式をつくり計算すること	61.1	64.6		-3.5	
	文を読み、かけ算の式をつくり計算すること	35.7	38.8		-3.1	

4年生

【国語】

観点別・領域別ともに、全国の平均正答率よりも高い水準である。領域内容別の正答率を見ると、「話を聞いたり発表するとき気をつけること」の項目の正答率が50%を下回っているため、指導方法の工夫が必要である。

項目		上尾市	全国	(-) 全国比較	(+) 全国比較
観点別	1 関心・意欲・態度	80.0	78.1		1.9
	2 話す・聞く能力	76.5	73.7		2.8
	3 書く能力	64.4	62.7		1.7
	4 読む能力	68.1	66.1		2.0
	5 知識・理解・技能	69.0	65.3		3.7
領域別	1 話すこと・聞くこと	76.5	73.7		2.8
	2 書くこと	64.4	62.7		1.7
	3 読むこと	68.1	66.1		2.0
	4 言語文化	69.0	65.3		3.7
領域内容別	朗読を聞いて、話の内容をとらえること	89.7	88.5		1.2
	話し合いをするときに気をつけること	73.3	65.2		8.1
	話を聞いたり発表するとき気をつけること	45.9	44.4		1.5
	メモをもとに作文の構成を考えて書くこと	62.3	62.0		0.3
	表現に気をつけて作文を書くこと	68.9	64.6		4.3
	気持ちや行動の理由を想像しながら読むこと	83.6	81.2		2.4
	説明されている内容を正しく読みとること	72.2	70.4		1.8
	場面のおよびを想像して読みとること	51.3	49.3		2.0
	四年生で習った漢字を正しく読むこと	87.9	80.9		7.0
	四年生で習った漢字を正しく書くこと	57.9	55.8		2.1
	慣用語を正しく使うこと	78.5	73.3		5.2
	漢字辞典の使い方と漢字の読み方について	61.9	59.7		2.2

【算数】

領域別に見ると「数と計算」「量と測定」に課題が見られる。領域内容別に見ると割り算に関係するところに課題が見られる。前学年におけるつまづきが影響していることも考えられるため、割り算についての基礎的な理解を深める必要がある。

項目		上尾市	全国	(-) 全国比較	(+) 全国比較
観点別	1 関心・意欲・態度	76.3	75.8		0.5
	2 数学的な考え方	57.9	58.4		-0.5
	3 技能	69.3	69.7		-0.4
	4 知識・理解	68.1	67.8		0.3
領域別	1 数と計算	70.4	71.4		-1.0
	2 量と測定	54.5	55.4		-0.9
	3 図形	66.8	65.9		0.9
	4 数量関係	66.7	65.8		0.9
領域内容別	億を超える大きな数について	78.3	76.6		1.7
	割り算のひっ算	73.9	77.7		-3.8
	がいの数の意味と表し方	63.1	59.0		4.1
	文を読み、割り算の式をつくり計算すること	65.0	67.6		-2.6
	角度を読みとったり計算したりすること	67.5	68.3		-0.8
	いろいろな四角形の面積を求めること	43.5	44.5		-1.0
	直線の垂直と平行について	79.0	78.0		1.0
	色々な四角形の特徴と対角線について	54.2	53.4		0.8
	折れ線グラフを読み取り表したりすること	81.6	81.0		0.6
	四則の混じった計算	56.8	55.6		1.2
					0
					0

5年生

【国語】

観点別・領域別ともに、全国の平均正答率よりも高い水準である。領域内容別の正答率を見ると、「人物の気持ちを想像しながら読み取ること」の項目の正答率が50%を下回っているため、指導方法の工夫が必要である。

項目		上尾市	全国	(-) 全国比較	(+) 全国比較
観点別	1 関心・意欲・態度	76.5	75.8		0.7
	2 話す・聞く能力	85.2	82.6		2.6
	3 書く能力	63.4	56.9		6.5
	4 読む能力	58.7	55.1		3.6
	5 知識・理解・技能	78.7	72.5		6.2
領域別	1 話すこと・聞くこと	85.2	82.6		2.6
	2 書くこと	63.4	56.9		6.5
	3 読むこと	58.7	55.1		3.6
	4 言語文化	78.7	72.5		6.2
領域内容別	朗読を聞いて、話の内容をとらえること	90.3	87.9		2.4
	インタビューで気をつけること	72.6	69.1		3.5
	目的に応じて表現を工夫して書くこと	68.9	64.8		4.1
	資料をもとにして表現を工夫して書くこと	61.0	53.2		7.8
	人物のおよびや場面を想像しながら読むこと	71.6	67.3		4.3
	説明されている内容を正しく読み取ること	62.9	59.3		3.6
	人物の気持ちを想像しながら読み取ること	43.2	40.3		2.9
	五年生で習った漢字を正しく読むこと	92.7	87.9		4.8
	五年生で習った漢字を正しく書くこと	80.1	63.2		16.9
	文の中で同音異義語を正しく使うこと	77.4	75.9		1.5
	敬語の種類がわかり正しく使うこと	67.5	67.1		0.4
	漢字の成り立ちについて	70.2	67.1		3.1

【算数】

観点別に見ると、「関心・意欲・態度」が全国平均を下回っている。算数を日常の事象と結びつける活動や操作的・作業的な活動、体験的な活動、探求的な活動等を含んだ数学的活動を通して、楽しい授業を創造していく必要がある。

項目		上尾市	全国	(-) 全国比較	(+) 全国比較
観点別	1 関心・意欲・態度	70.9	72.7		-1.8
	2 数学的な考え方	40.8	39.9		0.9
	3 技能	61.0	62.9		-1.9
	4 知識・理解	67.4	65.2		2.2
領域別	1 数と計算	57.8	58.2		-0.4
	2 量と測定	51.0	48.7		2.3
	3 図形	66.2	67.6		-1.4
	4 数量関係	*	*		該当なし
領域内容別	整数と小数の仕組みについて	78.4	79.1		-0.7
	小数の掛け算をとくこと	74.5	74.7		-0.2
	小数の割り算をとくこと	70.0	73.5		-3.5
	小数の掛け算・割り算の文章題をとくこと	40.5	41.9		-1.4
	偶数と奇数、最小公倍数と最大公約数	40.2	37.3		2.9
	分数の性質を理解し約分・通分をすること	64.7	62.9		1.8
	分数の足し算・引き算の計算	55.9	59.1		-3.2
	立体の体積や単位について	55.6	53.8		1.8
	単位量あたりの大きさについて	41.0	36.8		4.2
	平均を求めること	56.9	57.1		-0.2
	合同な図形について	65.3	65.5		-0.2
	図形の角度を求めること	79.3	70.6		8.7

6年生

【国語】

観点別・領域別ともに、全国の平均正答率よりも高い水準である。領域内容別で見ると、「文の中で敬語を正しく使うこと」が全国の平均正答率を下回っている。この項目は、昨年も課題が見られたため、指導方法の改善が必要である。

項目		上尾市	全国	(-)	全国比較	(+)
観点別	1 関心・意欲・態度	77.5	75.4			2.1
	2 話す・聞く能力	82.0	79.2			2.8
	3 書く能力	59.6	56.3			3.3
	4 読む能力	57.1	55.0			2.1
	5 知識・理解・技能	71.2	68.5			2.7
領域別	1 話すこと・聞くこと	82.0	79.2			2.8
	2 書くこと	59.6	56.3			3.3
	3 読むこと	57.1	55.0			2.1
	4 言語文化	71.2	68.5			2.7
領域内容別	1 朗読を聞いて、話の内容をとらえること	74.3	73.1			1.2
	話し合いでの注意と場面に応じた話し方	91.3	86.5			4.8
	2 表現をくふうして作文を書くこと	61.8	55.8			6
	資料をもとに内容を整理して書くこと	58.8	56.8			2
	人物の気持ちを想像しながら読み取ること	77.1	76.9			0.2
	3 説明されている内容を正しく読み取ること	55.2	52.2			3
	気持ちや行動の理由を想像しながら読むこと	43.2	41.0			2.2
	六年生で習った漢字を正しく読むこと	93.6	92.1			1.5
	六年生で習った漢字を正しく書くこと	73.1	64.8			8.3
	4 文の中で同音異義語を正しく使うこと	64.5	61.4			3.1
文の中で敬語を正しく使うこと	54.5	56.1			-1.6	
組み立てが同じ熟語と打ち消しの熟語	69.7	70.3			-0.6	

【算数】

観点別では、特に「数学的な考え方」に課題が見られる。領域別では、昨年と同様に「数と計算」「量と測定」で課題が見られる。領域内容別に見ると、面積や体積を求めることに課題が見られることから、公式を覚えさせるだけでなく、図形を構成する要素に着目し、論理的に考察できるように指導していくことが大切である。

項目		上尾市	全国	(-)	全国比較	(+)
観点別	1 関心・意欲・態度	74.0	73.2			0.8
	2 数学的な考え方	48.2	49.7			-1.5
	3 技能	71.0	71.7			-0.7
	4 知識・理解	71.2	71.9			-0.7
領域別	1 数と計算	74.8	76.8			-2
	2 量と測定	60.1	63.0			-2.9
	3 図形	61.6	61.7			-0.1
	4 数量関係	68.8	67.8			1
領域内容別	1 分数の掛け算の計算	78.4	80.4			-2
	分数の割り算の計算と逆数	71.2	73.2			-2
	円の面積を求めること	58.1	63.0			-4.9
	三角柱や四角柱、円柱の体積	40.2	45.6			-5.4
	2 およその面積や体積を求めること	60.4	64.6			-4.2
	速さについて理解し道のりや時間を求める	73.0	72.7			0.3
	3 線対称と点対称な図形について	65.6	66.2			-0.6
	図形の拡大図と縮図	57.6	57.2			0.4
	数量の関係を文字を用いた式で表すこと	78.9	75.8			3.1
	4 等しい比の性質を理解し問題をとくこと	72.9	74.9			-2
比例と反比例について	59.8	56.6			3.2	
					0	

(2) 中学校

1年生

【国語】

「読むこと」の領域にわずかに課題が見られる。領域内容別で見ると「詩の表現や内容に注意して読むこと」が全国の平均正答率を下回っている。この項目は、昨年も課題が見られたため、指導方法の改善が必要である。

項目		上尾市	全国	(-) 全国比較	(+)
観点別	1 関心・意欲・態度	76.9	73.5		3.4
	2 話す・聞く能力	64.5	64.2		0.3
	3 書く能力	65.3	64.9		0.4
	4 読む能力	46.1	46.4		-0.3
	5 知識・理解・技能	60.3	57.2		3.1
領域別	1 話すこと・聞くこと	64.5	64.2		0.3
	2 書くこと	65.3	64.9		0.4
	3 読むこと	46.1	46.4		-0.3
	4 言語文化	60.3	57.2		3.1
領域内容別	スピーチの内容を正しく聞き取ること	56.8	57.9		-1.1
	話し合いをするときの注意点	87.4	84.5		2.9
	会話文で相手や場に応じて話すこと	62.3	61.4		0.9
	2 作文や説明文を適切に書くこと	65.3	64.9		0.4
	詩の表現や内容に注意して読むこと	53.7	57.5		-3.8
	場面の情景や人物の心情を読み取ること	46.6	44.1		2.5
	場面の展開を考えて文章を読むこと	59.2	59.7		-0.5
	文章を読み、筆者の考えや要旨をとらえる	26.6	26.4		0.2
	漢字を正しく読むこと	84.6	84.4		0.2
	漢字を正しく書くこと	54.9	47.5		7.4
	4 古典の内容を正しく読み取ること	62.4	61.8		0.6
	文中の語句の意味や表現技法を理解すること	38.8	36.2		2.6

【数学】

観点別・領域別ともに、全国平均正答率よりも高い水準である。「関心・意欲」を高める工夫をすることで、さらなる学力の向上を図ることができると考えられる。

項目		上尾市	全国	(-) 全国比較	(+)
観点別	1 関心・意欲・態度	63.6	63.6		0
	2 数学的な見方や考え方	75.9	74.3		1.6
	3 数学的な技能	59.2	56.8		2.4
	4 知識・理解	45.1	43.6		1.5
領域別	1 数と式	66.2	64.8		1.4
	2 図形	50.9	48.0		2.9
	3 関数	66.4	63.8		2.6
領域内容別	正負の数の考え方や整数の性質について	81.1	78.2		2.9
	正負の数の計算をすること	73.9	73.2		0.7
	文字を用いて式や数量を表すこと	58.2	56.7		1.5
	文字式の計算をすること	64.6	62.8		1.8
	方程式や比例式を解くこと	60.8	59.9		0.9
	方程式を利用して問題を解くこと	53.1	52.6		0.5
	垂直二等分線の作図の証明	53.8	50.3		3.5
	2 図形の平行移動と対称移動について	47.1	42.7		4.4
	角の表し方と性質について	55.3	51.9		3.4
	反比例を表すグラフと式について	74.9	72.1		2.8
	3 関数のグラフと座標について	69.1	67.2		1.9
	関数を利用して問題を解くこと	55.6	52.7		2.9

【英語】

観点別では、「関心・意欲・態度」領域別では、「話すこと」に課題が見られる。生徒の関心・意欲を高める授業改善を行うとともに、「強勢や意味のまとまりを考えて話すこと」を意識した指導を重視することが必要である。

項目		上尾市	全国	(-) 全国比較	(+)
観点別	1 関心・意欲・態度	61.6	62.9		-1.3
	2 外国語表現の能力	47.9	47.1		0.8
	3 外国語理解の能力	67.8	66.3		1.5
	4 知識・理解	63.3	61.4		1.9
領域別	1 聞くこと	62.0	59.8		2.2
	2 話すこと	70.5	71.9		-1.4
	3 読むこと	68.9	67.0		1.9
	4 書くこと	48.1	45.7		2.4
領域内容別	1 英語の文章や会話の内容を聞き取ること	55.0	51.3		3.7
	英語の質問を聞いて絵に合う答えを選ぶこと	65.5	64.1		1.4
	2 強勢や意味のまとまりを考えて話すこと	62.8	64.7		-1.9
	場面に応じて適切に会話すること	88.7	88.7		0
	3 英文の内容を読み取り質問に答えること	94.1	94.3		-0.2
	会話文の内容を読み取り質問に答える	54.2	51.2		3
	4 日本語の会話文にあう英文を書くこと	55.1	50.0		5.1
	日本語の意味にあうように英文を構成する 絵の情報から適切な単語を書くこと	42.1	44.2		-2.1
	45.1	37.7		7.4	

2年生

【国語】

観点別・領域別ともに、全国の平均正答率よりも高い水準である。領域内容別に見ると、「漢字を正しく読むこと」や「古典の内容を正しく読み取ること」が全国の平均正答率を下回っている。この項目は、昨年も課題が見られたため、指導方法の改善が必要である。

項目		上尾市	全国	(-) 全国比較	(+)
観点別	1 関心・意欲・態度	74.2	69.3		4.9
	2 話す・聞く能力	69.2	66.5		2.7
	3 書く能力	66.4	63.6		2.8
	4 読む能力	50.1	48.2		1.9
	5 知識・理解・技能	56.1	54.5		1.6
領域別	1 話すこと・聞くこと	69.2	66.5		2.7
	2 書くこと	66.4	63.6		2.8
	3 読むこと	50.1	48.2		1.9
	4 言語文化	56.1	54.5		1.6
領域内容別	1 スピーチの内容を正しく聞き取ること	68.5	65.4		3.1
	説得力のある説明や発表の仕方がわかる	71.3	69.5		1.8
	手紙の構成を理解し、適切に書くこと	62.8	59.3		3.5
	2 文章の内容や表現に注意し、書くこと	70.4	69.2		1.2
	詩や短歌を読み、内容を理解すること	50.9	51.0		-0.1
	3 文章の展開に注意し筆者の考えを理解すること	48.1	44.2		3.9
	人物の言動の意味を考えて文章を読むこと	52.4	49.8		2.6
	漢字を正しく読むこと	80.4	82.8		-2.4
	漢字を正しく書くこと	61.9	58.2		3.7
	4 敬語の種類や正しい使い方を理解すること	60.2	57.9		2.3
	古典の内容を正しく読み取ること	43.2	44.8		-1.6
	文中の文の成分や品詞の働きなどを理解すること	36.8	29.7		7.1

【数学】

観点別・領域別ともに、全国の平均正答率よりも高い水準である。「関心・意欲」を高める工夫をすることで、さらなる学力の向上を図ることができると考えられる。

項目		上尾市	全国	(-) 全国比較	(+)
観点別	1 関心・意欲・態度	58.9	57.1		1.8
	2 数学的な見方や考え方	73.2	69.8		3.4
	3 数学的な技能	54.7	49.8		4.9
	4 知識・理解	44.3	38.8		5.5
領域別	1 数と式	61.6	58.3		3.3
	2 図形	51.8	46.0		5.8
	3 関数	67.4	62.8		4.6
領域内容別	文字式の計算	67.8	67.1		0.7
	1 文字式を利用して問題を解くこと	49.0	42.1		5.9
	連立方程式を解くこと	73.1	71.1		2
	連立方程式を利用して文章題を解くこと	56.1	51.2		4.9
	直線と角の性質を理解し、角度を求めること	68.7	64.1		4.6
	同位角と錯角を理解し、問題を解くこと	71.0	67.0		4
	2 多角形の内角について	30.1	25.3		4.8
	三角形の合同について理解すること	63.7	60.7		3
	三角形の合同を理解し、証明問題を解くこと	41.6	33.1		8.5
	1次関数のグラフについて	71.1	67.1		4
	3 1次関数を理解し、式を求めること	66.1	61.3		4.8
	1次関数のグラフを利用して問題を解くこと	66.3	61.4		4.9

4 質問紙調査結果の概要

【小学校第5学年（1,838人）】※総合は、国語と算数の問題数の合計から求めた正答率である。

(1) 学校に来る前に、きちんと朝ごはんを食べてきますか。

朝食の 摂取状況	1 食べてくる	2 食べてくる ほうが多い	3 食べてこない ほうが多い	4 食べてこない	無答 もしくは重答
	91.3%	5.4%	2.4%	0.7%	

朝食と正答率(%)の関係

	1 食べてくる	2 食べてくる ほうが多い	3 食べてこない ほうが多い	4 食べてこない	市全体	全 国
総 合	64.4	55.6	50.7	47.3	63.4	61.2
国 語	70.6	64.2	59.2	56.5	69.8	64.9
数 学	58.2	46.9	41.9	38.2	57.0	57.4

(分析)

「食べてくる」と答えた児童が91.3%で最も多く、「食べてくるほうが多い」と答えた生徒を含めると96.7%であり、朝食の摂取が定着している。朝ごはんを食べてくる児童ほど、正答率が高い傾向にある。

(2) 早寝、早起きを心がけていますか。

早寝、 早起き	1 いつも心が けている	2 だいたい心 がけている	3 あまり心が けていない	4 心がけてい ない	無答 もしくは重答
	33.3%	50.7%	13.7%	2.0%	

早寝、早起きと正答率(%)の関係

	1 いつも心が けている	2 だいたい心 がけている	3 あまり心が けていない	4 心がけてい ない	市全体	全 国
総 合	63.2	64.4	62.1	54.9	63.4	61.2
国 語	69.2	70.9	68.4	64.5	69.8	64.9
数 学	57.1	57.9	55.8	45.2	57.0	57.4

(分析)

「だいたい心がけている」と答えた児童が50.7%で最も多く、「いつも心がけている」と答えた児童を含めると84.0%である。早寝、早起きを心がけている児童ほど、正答率が高い傾向にある。

(3) 一日の睡眠時間はどれくらいですか。(土曜、日曜日は除く)

睡眠時間	1 6時間より 少ない	2 6～7時間	3 7～8時間	4 8～9時間	5 9～10時間	6 10時間以上	無答 もしくは重答
	1.8%	6.1%	18.8%	39.3%	29.4%	4.4%	

睡眠時間と正答率(%)の関係

	1 6時間より 少ない	2 6～7時間	3 7～8時間	4 8～9時間	5 9～10時間	6 10時間以上	市全体	全 国
総 合	51.4	59.3	63.3	64.8	63.7	62.8	63.4	61.2
国 語	61.1	66.3	69.5	71.1	70.0	68.3	69.8	64.9
数 学	41.7	52.1	57.1	58.5	57.2	57.1	57.0	57.4

(分析)

睡眠時間が8～9時間の生徒が39.3%で最も多く、8時間以上の睡眠をとっている児童の割合は73.1%である。平均睡眠時間が8～10時間の児童の正答率が高い傾向にある。

(4) 自分にはよいところがあると思いますか。

自己肯定感	1 ある	2 どちらかといえばある	3 どちらかといえばない	4 ない	無答 もしくは重答
	43.1%	42.2%	9.6%	5.0%	

自己肯定感と正答率(%)の関係

	1 ある	2 どちらかといえばある	3 どちらかといえばない	4 ない	市全体	全国
総合	65.4	62.9	60.4	57.4	63.4	61.2
国語	71.0	69.8	67.4	64.5	69.8	64.9
数学	59.8	55.9	53.2	50.4	57.0	57.4

(分析)

「自分にはよいところがある(どちらかといえばあるを含む)」と答えた児童は85.3%であり、自己肯定感が高い児童が多い。自己肯定感が高い児童ほど、正答率が高い傾向にある。

(5) 身の回りのこと(整理・整頓など)は、自分でしていますか。

整理整頓等	1 自分でしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 自分でしていない	無答 もしくは重答
	44.7%	39.4%	13.7%	2.0%	

整理整頓等と正答率(%)の関係

	1 自分でしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 自分でしていない	市全体	全国
総合	64.4	63.8	61.0	56.4	63.4	61.2
国語	70.7	70.1	67.7	63.5	69.8	64.9
数学	58.0	57.5	54.3	49.3	57.0	57.4

(分析)

「自分でしている(しているほうが多いを含む)」と答えた児童は84.1%であり、多くの児童が自分で自分のことをするように心がけている。自分でしていると答えた児童ほど、正答率が高い傾向にある。

(6) 先生や友達、近所の人に会った時、あいさつをしていますか。

あいさつ	1 あいさつをしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 あいさつをしていない	無答 もしくは重答
	60.8%	32.0%	6.3%	0.7%	

あいさつと正答率(%)の関係

	1 あいさつをしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 あいさつをしていない	市全体	全国
総合	63.7	63.7	61.2	54.5	63.4	61.2
国語	69.7	70.3	69.9	61.1	69.8	64.9
数学	57.6	57.1	52.6	47.9	57.0	57.4

(分析)

「あいさつをしている(しているほうが多いを含む)」と答えた生徒は92.8%である。算数において、あいさつをしている児童ほど、正答率が高い傾向にある。

(7) 相手や場面に応じて、言葉づかいに気をつけていますか。

言葉遣い	1 気をつけている	2 気をつけているほうが多い	3 気をつけていないほうが多い	4 気をつけていない	無答 もしくは重答
	62.9%	29.7%	5.9%	1.3%	0.1%

言葉遣いと正答率(%)の関係

	1 気をつけている	2 気をつけているほうが多い	3 気をつけていないほうが多い	4 気をつけていない	市全体	全国
総合	65.9	61.0	52.5	49.9	63.4	61.2
国語	72.1	67.5	60.0	58.4	69.8	64.9
数学	59.7	54.5	45.0	41.3	57.0	57.4

(分析)

「気をつけている（気をつけているほうが多いを含む）」と答えた児童は92.6%である。多くの児童が相手や場面に応じた話し方を心がけている。言葉遣いに気をつけている児童ほど、正答率が高い傾向にある。

(8) 学校のきまりを守って生活していますか。

きまりを守る	1 守っている	2 守っているほうが多い	3 守っていないほうが多い	4 守れていない	無答 もしくは重答
	58.9%	36.6%	4.0%	0.3%	0.2%

学校のきまりと正答率(%)の関係

	1 守っている	2 守っているほうが多い	3 守っていないほうが多い	4 守れていない	市全体	全国
総合	64.6	62.6	55.8	63.7	63.4	61.2
国語	71.0	68.9	62.2	76.0	69.8	64.9
数学	58.1	56.4	49.3	51.3	57.0	57.4

(分析)

「守っている（守っているほうが多いを含む）」と答えた児童は95.5%であり、多くの児童がきまりを守って生活している。守れていない児童がわずかに見られる。

(9) 普段ものごとを最後までやり遂げようとしていますか。

やり遂げる	1 している	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 していない	無答 もしくは重答
	53.8%	39.9%	5.3%	0.5%	0.5%

ものごとをやり遂げることと正答率(%)の関係

	1 している	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 していない	市全体	全国
総合	66.1	61.8	52.0	50.6	63.4	61.2
国語	71.4	69.3	60.7	59.6	69.8	64.9
数学	60.9	54.2	43.4	41.4	57.0	57.4

(分析)

「している（しているほうが多いを含む）」と答えた児童は93.7%である。ものごとを最後までやり遂げようとしている児童ほど、正答率が高い傾向にある。

(10) 授業で学んだことを生活の中（買い物、料理、読書、遊びなど）に生かしていますか。

学習の活用	1 生かしている	2 生かしているほうが多い	3 生かしていないほうが多い	4 生かしていない	無答 もしくは重答
	56.4%	32.7%	8.8%	1.1%	

学習したことを活用することと正答率(%)の関係

	1 生かしている	2 生かしているほうが多い	3 生かしていないほうが多い	4 生かしていない	市全体	全国
総合	64.7	63.0	60.2	53.7	63.4	61.2
国語	70.6	69.7	67.7	63.0	69.8	64.9
数学	58.8	56.3	52.7	44.2	57.0	57.4

(分析)

「生かしている（生かしているほうが多い）」と答えた児童は89.1%である。学習を生活に生かそうとしている児童ほど、正答率が高い傾向にある。

(11) 学校の授業時間以外に、普段（月曜日～金曜日）1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾や家庭教師を含む）

勉強時間	1 3時間以上	2 2～3時間	3 1～2時間	4 30分～1時間	5 30分より少ない	6 まったくしない	無答 もしくは重答
	9.3%	16.3%	34.3%	27.4%	9.5%	2.9%	

勉強時間と正答率(%)の関係

	1 3時間以上	2 2～3時間	3 1～2時間	4 30分～1時間	5 30分より少ない	6 まったくしない	市全体	全国
総合	74.2	66.4	64.4	61.0	56.2	50.0	63.4	61.2
国語	77.0	72.1	70.6	68.3	64.6	58.8	69.8	64.9
数学	71.3	60.7	58.2	53.8	47.7	41.3	57.0	57.4

(分析)

学校の授業時間以外に1日あたり1～2時間勉強をしている児童が34.3%と最も多い。学校の授業以外に勉強をしている時間が長い児童ほど、正答率が高い傾向にある。

(12) 先生や友達の話最後までしっかり聞いていますか。

聞くこと	1 きちんと聞いている	2 聞いているほうが多い	3 聞いていないほうが多い	4 聞いていない	無答 もしくは重答
	64.3%	31.6%	2.8%	0.3%	

聞くことと正答率(%)の関係

	1 きちんと聞いている	2 聞いているほうが多い	3 聞いていないほうが多い	4 聞いていない	市全体	全国
総合	65.0	61.8	53.0	47.3	63.4	61.2
国語	71.2	68.5	60.1	52.0	69.8	64.9
数学	58.8	55.0	45.9	42.5	57.0	57.4

(分析)

「聞いている（聞いているほうが多いを含む）」と答えた児童は、95.9%であり、多くの児童が話をしっかり聞いている。話を聞いている児童ほど、正答率が高い傾向にある。

(13) 授業中に発言をしますか。

授業中の 発言	1 よく発言する	2 ときどき発言する	3 ほとんど発言しない	4 まったく発言しない	無答 もしくは重答
	27.3%	45.7%	21.2%	5.0%	0.9%

授業中の発言と正答率(%)の関係

	1 よく発言する	2 ときどき発言する	3 ほとんど発言しない	4 まったく発言しない	市全体	全 国
総 合	68.9	62.4	61.2	55.6	63.4	61.2
国 語	73.5	69.0	68.9	64.2	69.8	64.9
数 学	64.3	55.8	53.5	46.7	57.0	57.4

(分析)

「発言する(ときどき発言するを含む)」と答えた児童は73.0%である。積極的に発言する児童ほど、正答率が高い傾向にある。

(14) 自分の携帯電話やスマートフォンで通話やメールをしていますか。

(SNSやインターネットへの接続やゲーム機能の使用を含む)

携帯電話等	1 ほぼ毎日している	2 ときどきしている	3 まったく、または、ほとんどしていない	4 携帯電話等を持っていない	無答 もしくは重答
	29.1%	27.3%	10.8%	32.5%	0.4%

携帯電話やスマートフォンの使用と正答率(%)の関係

	1 ほぼ毎日している	2 ときどきしている	3 まったく、または、ほとんどしていない	4 携帯電話等を持っていない	市全体	全 国
総 合	61.2	64.7	63.0	64.8	63.4	61.2
国 語	68.4	70.7	69.1	70.8	69.8	64.9
数 学	54.1	58.5	56.7	58.8	57.0	57.4

(分析)

「ほぼ毎日使用している(ときどきしているを含む)」と答えた児童は、56.4%である。「携帯電話等を持っていない」と答えた児童の正答率が最も高くなっている。

(15) 家庭で携帯電話やスマートフォンを使用する際のルールがありますか。

携帯電話等の 使用ルール	1 はい	2 いいえ	無答 もしくは重答
	52.2%	46.8%	1.0%

携帯電話等の使用ルールと正答率(%)の関係

	1 はい	2 いいえ	市全体	全 国
総 合	62.9	64.1	63.4	61.2
国 語	69.5	70.2	69.8	64.9
数 学	56.3	58.0	57.0	57.4

(分析)

携帯電話やスマートフォンを使用する際のルールを決めていない家庭が多く見られる。

(16) 読書は好きですか。

読書	1 好き	2 どちらかとい えば好き	3 どちらかとい えば好きでは ない	4 好きではない	無答 もしくは重答
	44.0%	32.9%	15.3%	7.3%	0.4%

読書と正答率(%)の関係

	1 好き	2 どちらかとい えば好き	3 どちらかとい えば好きでは ない	4 好きではない	市全体	全 国
総 合	67.0	61.9	61.3	54.3	63.4	61.2
国 語	74.0	68.1	66.3	60.5	69.8	64.9
数 学	59.9	55.8	56.1	48.1	57.0	57.4

(分析)

「好き（どちらかといえれば好きを含む）」と答えた児童は76.9%である。国語において「好き」と答えた児童ほど、正答率が高い傾向にある。

(17) 家や学校、図書館で普段（月～金曜）、1日あたりどれくらいの時間、読書を行いますか。（教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます）

読書時間	1 2時間以上	2 1～2時間	3 30分～1時間	4 15分～30分	5 15分より少 ない	6 まったくし ない	無答 もしくは重答
	5.8%	12.1%	26.0%	21.8%	18.6%	15.5%	0.3%

読書時間と正答率(%)の関係

	1 2時間以上	2 1～2時間	3 30分～1時間	4 15分～30分	5 15分より少 ない	6 まったくし ない	市全体	全 国
総 合	64.4	64.3	65.4	64.7	63.0	58.5	63.4	61.2
国 語	73.4	71.5	71.6	70.5	68.8	65.0	69.8	64.9
数 学	55.5	57.1	59.3	58.9	57.0	51.9	57.0	57.4

(分析)

家や学校、図書館で1日あたり30分～1時間の読書をしている児童が26.0%で最も多い。読書をしている児童の国語の正答率が高い傾向にある。

(18) 学校に行くのは楽しいと思いますか。

学校が 楽しい	1 楽しい	2 どちらかとい えば 楽しい	3 どちらかとい えば 楽しくない	4 楽しくない	無答 もしくは重答
	65.3%	27.8%	4.2%	2.3%	0.4%

学校が楽しいと正答率(%)の関係

	1 楽しい	2 どちらかとい えば 楽しい	3 どちらかとい えば 楽しくない	4 楽しくない	市全体	全 国
総 合	64.3	63.0	56.9	56.5	63.4	61.2
国 語	70.4	69.7	64.9	64.4	69.8	64.9
数 学	58.3	56.3	48.7	48.4	57.0	57.4

(分析)

「楽しい（どちらかといえれば楽しいを含む）」と答えた児童は93.1%である。学校が楽しいと答えた児童ほど、正答率が高い傾向にある。

(19) 勉強は好きですか。

勉強好き	1 好き	2 どちらかとい えば好き	3 どちらかとい えば好きでは ない	4 好きではない	無答 もしくは重答
	27.3%	41.9%	21.6%	9.1%	0.2%

勉強好きと正答率(%)の関係

	1 好き	2 どちらかとい えば好き	3 どちらかとい えば好きでは ない	4 好きではない	市全体	全 国
総 合	70.7	63.4	59.2	52.4	63.4	61.2
国 語	74.6	70.0	67.1	61.4	69.8	64.9
数 学	66.8	56.8	51.2	43.4	57.0	57.4

(分析)

「好き（どちらかといえば好きを含む）」と答えた児童は69.2%である。「好き」と答えた児童と「好きではない」と答えた児童の正答率の差が設問の中で最も大きくなっている。

【中学校第2学年（1,745人）】※総合は、国語と数学の問題数の合計から求めた正答率である。

(1) 学校に来る前に、きちんと朝ごはんを食べてきますか。

朝食の 摂取状況	1 食べてくる	2 食べてくる ほうが多い	3 食べてこない ほうが多い	4 食べてこない	無答 もしくは重答
	86.2%	8.4%	3.7%	1.7%	

朝食と正答率(%)の関係

	1 食べてくる	2 食べてくる ほうが多い	3 食べてこない ほうが多い	4 食べてこない	市全体	全 国
総 合	60.1	49.7	45.3	53.8	58.5	55.9
国 語	59.1	52.2	49.8	53.7	58.1	56.5
数 学	61.0	47.2	40.9	54.0	58.9	55.2

(分析)

「食べてくる」と答えた生徒が86.2%で最も多く、「食べてくるほうが多い」と答えた生徒を含めると94.6%であり、朝食の摂取が定着している。

(2) 早寝、早起きを心がけていますか。

早寝、 早起き	1 いつも心が けている	2 だいたい心 がけている	3 あまり心が けていない	4 心がけてい ない	無答 もしくは重答
	17.5%	47.5%	28.1%	6.7%	

早寝、早起きと正答率(%)の関係

	1 いつも心が けている	2 だいたい心 がけている	3 あまり心が けていない	4 心がけてい ない	市全体	全 国
総 合	57.8	59.9	57.1	57.7	58.5	55.9
国 語	56.7	59.1	57.2	58.9	58.1	56.5
数 学	58.8	60.7	56.9	56.5	58.9	55.2

(分析)

「だいたい心がけている」と答えた生徒が47.5%で最も多く、「いつも心がけている」と答えた生徒を含めると65.0%である。早寝、早起きを積極的に心がけていない生徒の割合が30%を超えている。

(3) 一日の睡眠時間はどれくらいですか。(土曜、日曜日は除く)

睡眠時間	1 6時間より 少ない	2 6～7時間	3 7～8時間	4 8～9時間	5 9～10時間	6 10時間以上	無答 もしくは重答
	8.4%	33.9%	38.6%	15.7%	3.0%	0.2%	

睡眠時間と正答率(%)の関係

	1 6時間より 少ない	2 6～7時間	3 7～8時間	4 8～9時間	5 9～10時間	6 10時間以上	市全体	全 国
総 合	56.6	58.4	60.4	57.3	49.7	38.0	58.5	55.9
国 語	57.8	58.3	59.2	56.8	50.0	48.7	58.1	56.5
数 学	55.4	58.5	61.7	57.6	49.3	34.8	58.9	55.2

(分析)

睡眠時間が7～8時間の生徒が38.6%で最も多く、次いで6～7時間の生徒が33.9%となっている。平均睡眠時間が9時間を超える生徒ほど、正答率が低い傾向にある。

(4) 自分にはよいところがあると思いますか。

自己肯定感	1 ある	2 どちらかといえばある	3 どちらかといえばない	4 ない	無答 もしくは重答
	28.5%	50.5%	15.3%	5.5%	

自己肯定感と正答率(%)の関係

	1 ある	2 どちらかといえばある	3 どちらかといえばない	4 ない	市全体	全国
総合	60.3	58.8	56.4	53.4	58.5	55.9
国語	59.1	58.2	57.0	55.2	58.1	56.5
数学	61.3	59.5	55.7	51.6	58.9	55.2

(分析)

「自分にはよいところがある(どちらかといえばあるを含む)」と答えた生徒は79.0%である。自己肯定感が高い生徒ほど、正答率が高い傾向にある。

(5) 身の回りのこと(整理・整頓など)は、自分でしていますか。

整理整頓等	1 自分でしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 自分でしていない	無答 もしくは重答
	49.2%	37.9%	11.7%	1.0%	

整理整頓等と正答率(%)の関係

	1 自分でしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 自分でしていない	市全体	全国
総合	60.3	58.3	53.2	48.2	58.5	55.9
国語	59.6	57.8	54.0	46.9	58.1	56.5
数学	61.0	58.7	52.3	49.6	58.9	55.2

(分析)

「自分でしている(しているほうが多いを含む)」と答えた生徒は87.1%であり、多くの生徒が自分で自分のことをするように心がけている。自分でしていると答えた生徒ほど、正答率が高い傾向にある。

(6) 先生や友達、近所の人に出会った時、あいさつをしていますか。

あいさつ	1 あいさつをしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 あいさつをしていない	無答 もしくは重答
	57.3%	36.0%	6.2%	0.5%	

あいさつと正答率(%)の関係

	1 あいさつをしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 あいさつをしていない	市全体	全国
総合	58.6	58.8	57.4	42.8	58.5	55.9
国語	58.0	58.4	58.2	46.4	58.1	56.5
数学	59.2	59.2	56.7	39.4	58.9	55.2

(分析)

「あいさつをしている(しているほうが多いを含む)」と答えた生徒は93.3%であり、多くの生徒があいさつを心がけて生活している。あいさつをしている生徒ほど、正答率が高い傾向にある。

(7) 相手や場面に応じて、言葉づかいに気をつけていますか。

言葉遣い	1 気をつけている	2 気をつけているほうが多い	3 気をつけていないほうが多い	4 気をつけていない	無答 もしくは重答
	71.3%	25.4%	2.8%	0.4%	0.1%

言葉遣いと正答率(%)の関係

	1 気をつけている	2 気をつけているほうが多い	3 気をつけていないほうが多い	4 気をつけていない	市全体	全国
総合	60.2	55.5	46.6	46.9	58.5	55.9
国語	59.7	55.2	45.9	47.4	58.1	56.5
数学	60.6	55.8	47.3	46.1	58.9	55.2

(分析)

「気をつけている（気をつけているほうが多いを含む）」と答えた生徒は96.7%であり、多くの生徒が相手と場に応じた話し方を心がけている。言葉遣いに気をつけている生徒ほど、正答率が高い傾向にある。

(8) 学校のきまりを守って生活していますか。

きまりを守る	1 守っている	2 守っているほうが多い	3 守っていないほうが多い	4 守れていない	無答 もしくは重答
	71.7%	26.1%	1.9%	0.2%	0.1%

学校のきまりと正答率(%)の関係

	1 守っている	2 守っているほうが多い	3 守っていないほうが多い	4 守れていない	市全体	全国
総合	60.3	54.9	47.4	27.0	58.5	55.9
国語	59.5	55.1	50.3	31.5	58.1	56.5
数学	61.1	54.6	44.5	22.5	58.9	55.2

(分析)

「守っている（守っているほうが多いを含む）」と答えた生徒は97.8%であり、多くの生徒がきまりを守って生活している。守れていない生徒の正答率が非常に低くなっている。

(9) 普段ものごとを最後までやり遂げようとしていますか。

やり遂げる	1 している	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 していない	無答 もしくは重答
	43.8%	47.6%	7.4%	1.1%	0.1%

ものごとをやり遂げることと正答率(%)の関係

	1 している	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 していない	市全体	全国
総合	62.5	56.7	48.9	48.1	58.5	55.9
国語	60.8	56.8	52.1	48.4	58.1	56.5
数学	64.2	56.5	45.9	48.0	58.9	55.2

(分析)

「している（しているほうが多いを含む）」と答えた生徒は91.4%である。ものごとを最後までやり遂げようとしている生徒ほど、正答率が高い傾向にある。

(10) 授業で学んだことを生活の中（買い物、料理、読書、遊びなど）に生かしていますか。

学習の活用	1 生かしている	2 生かしているほうが多い	3 生かしていないほうが多い	4 生かしていない	無答 もしくは重答
	31.5%	45.6%	18.6%	3.5%	0.9%

学習したことを活用することと正答率(%)の関係

	1 生かしている	2 生かしているほうが多い	3 生かしていないほうが多い	4 生かしていない	市全体	全国
総合	60.4	58.8	57.0	50.1	58.5	55.9
国語	59.2	58.3	57.6	51.9	58.1	56.5
数学	61.6	59.4	56.3	48.4	58.9	55.2

(分析)

「生かしている（生かしているほうが多い）」と答えた生徒は77.1%である。学習を生活に生かそうとしている生徒ほど、正答率が高い傾向にある。

(11) 学校の授業時間以外に、普段（月曜日～金曜日）1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾や家庭教師を含む）

勉強時間	1 3時間以上	2 2～3時間	3 1～2時間	4 30分～1時間	5 30分より少ない	6 まったくしない	無答 もしくは重答
	6.1%	21.6%	37.4%	18.8%	9.5%	6.5%	0.1%

勉強時間と正答率(%)の関係

	1 3時間以上	2 2～3時間	3 1～2時間	4 30分～1時間	5 30分より少ない	6 まったくしない	市全体	全国
総合	68.4	62.7	59.5	54.9	54.2	46.8	58.5	55.9
国語	65.6	60.2	58.8	55.9	55.9	50.2	58.1	56.5
数学	71.2	65.3	60.3	53.8	52.5	43.3	58.9	55.2

(分析)

学校の授業時間以外に1日あたり1～2時間勉強をしている生徒が37.4%と最も多く、次いで2～3時間が21.6%となっている。まったく勉強をしていない生徒が6.5%いることが課題である。

(12) 先生や友達の話最後までしっかり聞いていますか。

聞くこと	1 きちんと聞いている	2 聞いているほうが多い	3 聞いていないほうが多い	4 聞いていない	無答 もしくは重答
	62.9%	32.7%	3.4%	0.4%	0.6%

聞くことと正答率(%)の関係

	1 きちんと聞いている	2 聞いているほうが多い	3 聞いていないほうが多い	4 聞いていない	市全体	全国
総合	60.0	56.3	55.8	52.9	58.5	55.9
国語	59.3	56.3	55.7	54.0	58.1	56.5
数学	60.7	56.2	55.9	51.7	58.9	55.2

(分析)

「きちんと聞いている（聞いているほうが多いを含む）」と答えた生徒は、95.6%であり、多くの生徒が話をしっかり聞くことができている。話を聞いている生徒ほど、正答率が高い傾向にある。

(13) 授業中に発言をしますか。

授業中の 発言	1 よく発言する	2 ときどき発言する	3 ほとんど発言しない	4 まったく発言しない	無答 もしくは重答
	18.5%	43.7%	27.3%	10.1%	0.3%

授業中の発言と正答率(%)の関係

	1 よく発言する	2 ときどき発言する	3 ほとんど発言しない	4 まったく発言しない	市全体	全国
総合	68.6	60.3	53.7	45.7	58.5	55.9
国語	66.1	59.1	54.8	48.2	58.1	56.5
数学	71.0	61.5	52.6	43.2	58.9	55.2

(分析)

「よく発言する(ときどき発言するを含む)」と答えた生徒は62.2%である。発言に対して消極的な生徒の割合が37.4%となっており、課題である。

(14) 自分の携帯電話やスマートフォンで通話やメールをしていますか。

(SNSやインターネットへの接続やゲーム機能の使用を含む)

携帯電話等	1 ほぼ毎日している	2 ときどきしている	3 まったく、または、ほとんどしていない	4 携帯電話等を持っていない	無答 もしくは重答
	67.4%	18.3%	4.2%	9.9%	0.1%

携帯電話やスマートフォンの使用と正答率(%)の関係

	1 ほぼ毎日している	2 ときどきしている	3 まったく、または、ほとんどしていない	4 携帯電話等を持っていない	市全体	全国
総合	58.2	59.3	57.8	60.3	58.5	55.9
国語	57.8	58.3	56.7	60.7	58.1	56.5
数学	58.6	60.1	58.7	59.8	58.9	55.2

(分析)

「ほぼ毎日使用している(ときどきしているを含む)」と答えた生徒は、85.7%となっている。「携帯電話等を持っていない」と答えた生徒の正答率が高い傾向にある。

(15) 家庭で携帯電話やスマートフォンを使用する際のルールがありますか。

携帯電話等の 使用ルール	1 はい	2 いいえ	無答 もしくは重答
	64.1%	35.5%	0.4%

携帯電話等の使用ルールと正答率(%)の関係

	1 はい	2 いいえ	市全体	全国
総合	60.1	55.9	58.5	55.9
国語	59.3	56.2	58.1	56.5
数学	60.9	55.7	58.9	55.2

(分析)

携帯電話やスマートフォンを使用する際のルールを決めている生徒は64.1%である。ルールを決めている生徒ほど、正答率が高い傾向にある。

(16) 読書は好きですか。

読書	1 好き	2 どちらかといえば好き	3 どちらかといえば好きではない	4 好きではない	無答 もしくは重答
	38.5%	32.6%	18.8%	9.9%	

読書と正答率(%)の関係

	1 好き	2 どちらかといえば好き	3 どちらかといえば好きではない	4 好きではない	市全体	全国
総合	63.0	57.2	55.9	51.1	58.5	55.9
国語	63.4	57.0	53.9	49.3	58.1	56.5
数学	62.5	57.4	57.8	53.1	58.9	55.2

(分析)

「好き（どちらかといえば好きを含む）」と答えた生徒は71.1%である。「好き」と答えた生徒ほど、正答率が高い傾向にある。

(17) 家や学校、図書館で普段（月～金曜）、1日あたりどれくらいの時間、読書しますか。（教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます）

読書時間	1 2時間以上	2 1～2時間	3 30分～1時間	4 15分～30分	5 15分より少ない	6 まったくしない	無答 もしくは重答
	3.2%	7.0%	19.4%	23.1%	26.8%	20.4%	

読書時間と正答率(%)の関係

	1 2時間以上	2 1～2時間	3 30分～1時間	4 15分～30分	5 15分より少ない	6 まったくしない	市全体	全国
総合	60.5	58.0	59.9	60.9	59.4	53.4	58.5	55.9
国語	60.4	59.9	60.1	60.2	58.1	53.0	58.1	56.5
数学	60.6	56.2	59.7	61.5	60.6	53.9	58.9	55.2

(分析)

家や学校、図書館で1日あたり15分より少ない生徒が26.8%で最も多い。次いで、15分～30分となっている。読書をまったくしない生徒の正答率は低くなっている。

(18) 学校に行くのは楽しいと思いますか。

学校が楽しい	1 楽しい	2 どちらかといえば楽しい	3 どちらかといえば楽しくない	4 楽しくない	無答 もしくは重答
	51.6%	36.5%	7.9%	3.8%	

学校が楽しいと正答率(%)の関係

	1 楽しい	2 どちらかといえば楽しい	3 どちらかといえば楽しくない	4 楽しくない	市全体	全国
総合	60.2	58.0	54.7	50.6	58.5	55.9
国語	58.8	57.9	57.2	53.7	58.1	56.5
数学	61.6	58.1	51.9	47.6	58.9	55.2

(分析)

「楽しい（どちらかといえば楽しいを含む）」と答えた児童は88.1%である。「楽しい」と答えた生徒ほど、正答率が高い傾向にある。

(19) 勉強は好きですか。

勉強好き	1 好き	2 どちらかとい えば好き	3 どちらかとい えば好きでは ない	4 好きではない	無答 もしくは重答
	8.5%	22.5%	39.5%	29.3%	0.2%

勉強好きと正答率(%)の関係

	1 好き	2 どちらかとい えば好き	3 どちらかとい えば好きでは ない	4 好きではない	市全体	全 国
総 合	70.0	66.9	57.3	50.6	58.5	55.9
国 語	67.5	64.4	57.2	51.8	58.1	56.5
数 学	72.5	69.2	57.5	49.2	58.9	55.2

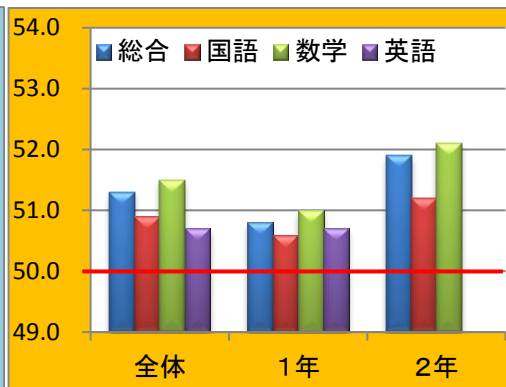
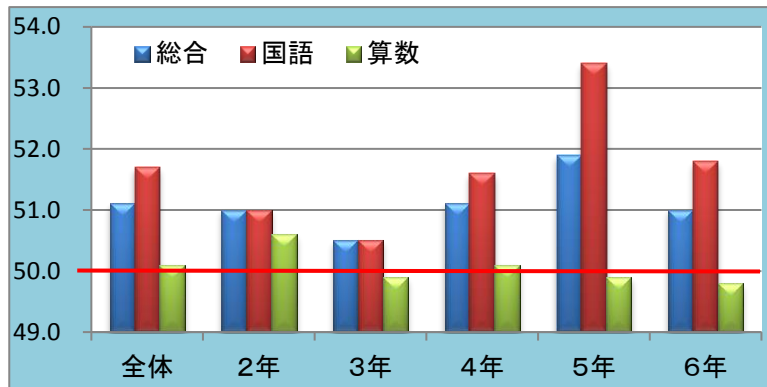
(分析)

「好き（どちらかといえば好きを含む）」と答えた児童は31.0%である。勉強に対して、否定的な回答をしている生徒の割合が高いのが課題である。「好き」と答えた児童と「好きではない」と答えた生徒の正答率の差が設問の中で最も大きくなっている。

5 まとめ

※全国標準を50とした場合

小学校	全体	2年	3年	4年	5年	6年	中学校	全体	1年	2年
総合	51.1	51.0	50.5	51.1	51.9	51.0	総合	51.3	50.8	51.9
国語	51.7	51.0	50.5	51.6	53.4	51.8	国語	50.9	50.6	51.2
算数	50.1	50.6	49.9	50.1	49.9	49.8	数学	51.5	51.0	52.1
							英語	50.7	50.7	*



(1) 小学校の状況

- ア 総合得点では、全学年で全国標準値を上回っている。
- イ 学年別、教科別に見ると、第3・5・6学年の算数の得点が全国標準値をわずかに下回っている。
- ウ 第5学年で実施した質問紙調査では、基本的な生活習慣が確立している児童が多く見られる。また、あいさつ、言葉遣い、整理整頓等の「規律ある態度」も達成できている児童が多い。「普段ものごとを最後までやり遂げようとしていますか」、「勉強は好きですか」の項目において学力との相関関係が見られる。

(2) 中学校の状況

- ア 全学年、全教科で全国標準値を上回っている。
- イ 第2学年で実施した質問紙調査では、朝食の摂取率が高くなっている。小学校と同様に「規律ある態度」を達成できている生徒が多く見られる。「学校のきまりを守って生活していますか」、「勉強は好きですか」の項目において学力との相関関係が見られる。

(3) 成果

- ア 「上尾市学力向上リーフレット」を活用した授業改善を行うことで、ここ数年課題であった小学校算数において、向上が見られてきた。
- イ 市の学力調査を2学期の学習が終了した時期に実施することにより、効果の検証を年度途中で行うことができるため、効果的な検証・改善サイクルを確立することができた。
- ウ 各学校が作成した「学力向上プラン」を基に、児童生徒の発達段階に応じた系統的な取組が実施され、着実に知識及び技能の習熟が図られている。

(4) 課題

- ア 小学校算数に課題が見られる。特に「数と計算」「量と測定」の領域の正答率が低くなっている。除法については、第3学年でのつまずきが次学年へ影響していることが考えられる。言葉、図、式を関連付けて考えさせるなど、除法についての意味をしっかりと理解させる必要がある。また、求積については、公式を覚えさせるだけでなく、図形を構成する要素に着目させ、論理的に考察する力を身に付けさせる必要がある。主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善が大切
- イ 中学校の英語において、「関心・意欲・態度」の観点に課題が見られる。学習意欲は、学力と相関関係が見られるので、生徒の関心・意欲を高めるために指導方法を工夫し、授業改善を図る必要がある。
- ウ 質問紙調査の結果を見ると、小・中学校ともに「授業中に発言しますか」という項目において肯定的な回答が低い割合を示している。授業の中で相手の話を聞いたり、発表したりする場面を適切に設ける。そして、ペアやグループでの話し合いの中で、自分の考えを伝えることも発言に含まれることを児童生徒に意識させ、教師の適切な言葉かけで自己肯定感を育てていく必要がある。

(5) 今後の取組

ア 学力向上プランの作成と授業改善

各校では、調査結果から明らかになった自校の課題と児童生徒一人一人の学力向上を目指した「学力向上プラン」を作成している。課題を重点化することで、より具体的な手立てを示し、教科横断的な視点で、着実に実施して授業改善を図る。

イ 検証改善CAPDサイクルを活用した児童生徒一人一人の学力向上

4月に実施される国や県の学力・学習状況調査の結果と2学期の学習終了後に行われる上尾市の学力調査の結果に基づき、定期的に学力向上プランを見直しを図る。児童生徒の実態に応じた実効的な学力向上プランを作成して取り組むことで、更なる授業改善と児童生徒一人一人の学力向上を図る。



Check	上尾市学力調査で、自校の課題と取組の成果を分析する。
Act	効果のあったよい取組を共有して、さらなる授業改善を行う。
Plan	学力を伸ばす手立てを検討し、4月から実施するプランを作成する。
Do	「学力向上プラン」に基づき、授業改善と学力向上の取組を実施する。
Check	国・県の学力調査で、自校の課題や学力の伸びを分析する。
Act	問題を解くために求められる力や学力の伸ばした取組を把握する。
Plan	学力を伸ばす手立てを検討し、10月から実施するプランを作成する。
Do	「学力向上プラン」に基づき、授業改善と学力向上の取組を実施する。

ウ 学習規律と基本的生活習慣の確立

小学校5年生と中学校2年生では質問紙調査を行い、学習規律や生活習慣と学力との相関関係を分析している。学力との相関が見られる学習規律や生活習慣の確立に向け、家庭や地域の方との連携を深めていく。

エ 委嘱研究や研修会による指導方法の工夫・改善

上尾市教育委員会委嘱により学習指導、生徒指導、外国語活動、道徳教育などの研究領域について研究、実践を行っている。毎年11校が2年間にわたる研究の成果を発表しており、市内全校から教員が参加して研究の成果や取組を共有している。

また、上尾市教育委員会としては、各学校を訪問するなどして、学力向上プラン作成と、それを踏まえた授業改善について助言等の支援を行っていく。さらに実践的な研修会を開催して、教員一人一人が学習指導の工夫・改善を図ることができるよう積極的に支援を行っていく。